

★ 星薬科大学 ★

第47回星薬祭は、10月21・22日に行われました。今年の星薬祭のテーマは、「Powerful」でした。テーマの意味は、例年以上に活気のある元気な星薬祭を目指そうという思いに加えて、来ていただいた皆様に元気を与えられるような『Powerful』な星薬祭にしようという思いが込められていました。21・22日両日とも、雨天で、天候には恵まれませんでした。各サークル、教室・研究室の模擬店やスペシャルライブなど、来場者の方々に楽しんでいただける星薬祭を企画することができたと思います。

スペシャルゲスト 井上苑子さん

今回の星薬祭ではスペシャルゲストとして、シンガーソングライターの”井上苑子”さんをお招きしました。台風の中でしたが、たくさんのファンの方々にお越し頂き、外は寒いですが会場は熱いライブになりました。後日Twitterにて、井上苑子さんも”アットホームな感じでできて、私もめちゃくちゃテンション上がっちゃった。笑暖かくて素敵な学校だったなあ(一部抜粋)”とコメントしてくださいました。また星薬祭に来て頂きたいです。



くすりと健康フェア

薬学部ならではの催しを紹介します。品川区、品川荏原薬剤師会と協力して星薬科大学 くすりと健康フェアを開催しました。主に地域住民の方々を対象に血圧、血糖値、骨密度などの自己健康チェックや健康相談の場を提供し、地域の健康支援に貢献しました。当日のスタッフを担当した学生(薬学科3年)にインタビューしたところ、”セルフメディケーションや薬の適正使用に関する支援、さらに地域住民と触れ合う重要性について考える機会となりました。薬剤師として今後さらに勉強しなければならないと実感しました”と語っていました。



“自治ペチーノ”

寒さの中でも売れ行き好調

第47回星薬祭は自治会にとって初めての模擬店の出店の場となりました。販売する商品は、フラペチーノを自治会流にアレンジした”自治ペチーノ”です。味は、抹茶とショコラの二種類。普通のフラペチーノと違い、甘さを控えめにした大人な味を追求しました。星薬祭両日は、台風の影響で雨と風が吹き荒れる中での販売となり、冷たい飲みものではありませんでしたが、その苦みをポイントとして、来場客の心をつかみました。「みんなで売る。」が自治会の目標で、全員がローテーションで看板を持って歩き、声をかけて宣伝を行ったことも成功の一因でした。学年を問わず取り組んだ星薬祭は自治会の絆をより一層深められたと思います。



武蔵小山商店街 70 周年記念イベント

今年星薬祭同日の22日に武蔵小山商店街70周年イベントがありましたので、星薬科大学からもブースを出展しました。星薬科大学学生自治会に武蔵小山商店街振興組合から参加のお声がけをいただいたので、学生自治会が指揮をとり、星薬祭実行委員会、科学捜査研究会、生協学生委員会が参加しました。学生自治会からは、学校紹介ポスターの展示、漢方茶の無料配布を行い、地域の方々との交流を深めました。今後も、学生自治会が大学と地域との交流・連携をすすめていき、より楽しく豊かな大学生活を作り上げていきたいです。

